



管制塔に設置されている管制卓と
海上自衛隊T-5型練習機(写真下)

海上自衛隊小月基地で航空管制コンソール運用開始！

明星電気は、防衛省海上自衛隊小月教育航空群(山口県下関市)様に、タッチパネル式に改良された航空管制コンソール(管制卓)を納入し、今年3月から運用が開始されました。

本装置は、航空管制用無線電話通信や有線電話通信を集約・総合制御し、総合的に飛行場管制業務を管制塔にて実施する装置です。飛行場周辺および地上の航空機との無線通信にて離発着陸誘導などを行うと共に、関係部署との電話連絡を行い、飛行計画の修正や飛行場周辺の気象情報の伝達などを行うことにより、航空機の安全な運行を保ちます。

本群は、将来海上自衛隊の第一線で活躍するパイロットまたは戦術航空を目指す若い隊員を育てるための基地で、本装置により日々実践訓練が行われています。

明星のテクノロジーが空の安全を支えると共に、パイロット育成にも貢献いたします。

(当社営業担当:第一営業部 其町 晃季)



撮影風景と放球されたGPSゾンデ(写真下)

TBSに撮影協力！

成層圏から見た地球の撮影に成功しました！！

明星電気は、株式会社TBSテレビ様より撮影協力の依頼を受け、成層圏から見た地球のハイビジョン映像の撮影に挑みました。

方法は、明星製のGPSゾンデに市販のハイビジョンカメラを搭載して、ゾンデを飛ばしながら常に撮影を行い、最終的に落下した機材をGPSの位置情報で場所を特定して回収を行うと言うものです。

撮影は、番組出演者のココリコ田中さん、中川翔子さん参加のもと、茨城県守谷市の当社つくば事務所にて行われ、2度の放球とも無事に機材の回収に成功しました。カメラには高度約30Kmまでの映像が収録され、美しい地球の他、バルーンが割れる瞬間や着水の様子も収録されており、TBSの方にも高評価を得られました。

なお、この撮影の様子は、毎週月曜日午後11時30分より放映の”謎解きバラエティ「飛び出せ！科学くん」”の中で、6月29日放映予定となっています。是非、この機会に成層圏から見た地球の映像をテレビでご覧下さい。

月周回衛星「かぐや」の後期運用について

2007年9月にHⅡAロケット13号機にて種子島宇宙センターより打ち上げられた月周回衛星「かぐや」(SELENE)の運用も、最終局面にきています。

既に、「かぐや」の子衛星である「おきな」は、2009年2月に月の裏側に落下して、裏側の重力場観測ミッションを完了していますが、「かぐや」主衛星も6月11日に月の表側を予定地に落下する予定です。「かぐや」主衛星は、高度約100Kmを周回していましたが、2009年2月には高度約50Km、4月からは更に低高度のもっとも近いところが10-30kmで国際的に「かぐや」でのみ実現可能な今まで以上に詳細な観測運用を6月上旬まで行うとのことです。

なお、制御落下が実施されるまでの軌道においては、明星電気が開発に参画したハイビジョンカメラ(HDTV)により鮮明な月面の撮影が期待されます。

「かぐや」についての、詳細な内容については、下記宇宙航空研究開発機構(JAXA)様のホームページサイトにてご覧頂けます。 <http://www.kaguya.jaxa.jp/>



HDTVで撮影した「月から見た地球のダイヤモンドリング」
(提供 宇宙航空研究開発機構(JAXA)様
/日本放送協会(NHK)様)

明星電気の活動を紹介します。

FROM UNDERWATER TO OUTERSPACE

明星電気は先端技術を活かし、～水中から宇宙まで～をテーマに

人と社会の豊かな未来づくりを目指す世界の総合環境観測システムメーカーです。